

# びわ再生協議会（千葉県南房総市、館山市、鋸南町）

R3補正  
R4当初

12

実施年度：令和4年度

## 背景・課題

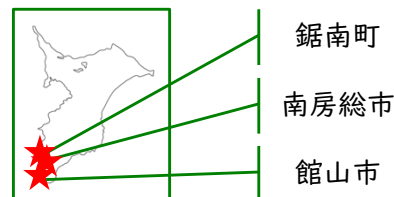
ビワ産地では、果樹カメムシ類多発年には、可販収量が著しく減少するが、主なほ場は山の傾斜地にあるため、薬剤散布に係る労力負担が大きいことが課題。

## 成果目標と達成状況

- 県農林総合研究センターが開発した「ビワ収穫期予測ソフト」により収穫期を予測し、適期防除を行うことによる薬剤散布回数の低減およびドローンを用いた防除による1回当たり散布時間の低減の検証を行った。
- グリーンな栽培体系に取り組む面積  
令和4年度：2ha → 令和9年度：10ha

## 取組の成果

- 収穫期予測ソフトを活用し、適期に防除を行ったことで、薬剤散布回数を慣行の2回から1回に減らしつつ、慣行と同等程度の防除効果を得ることができた。また、ドローンでの防除により、慣行の散布時間に比べて70%以上短縮することができた。



## 構成員

千葉県安房農業事務所、  
千葉県農林総合研究センター、  
JA安房、房州枇杷組合連合会

## 品目

びわ

## 栽培マニュアル・産地戦略

グリーンな栽培体系  
への転換サポート  
(みどりの食料シス  
テム戦略緊急対策交  
付金)／千葉県



<https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/fukyu/gurisapo/>



○果径と気温によって収穫期を予測



○びわ山頂上からドローンで空中散布

## 普及に向けた取組

県内のビワ産地では、ドローンによる薬剤散布を業者に委託する農業者や、自らドローンを導入する農業者も現れるなど一定の成果がある。

今後は、農業者や関係機関に広く周知するための現地検討会や推進会議を開催し、収穫期予測ソフトを活用した適期防除とドローンによる防除を組み合わせた防除技術資料を果樹カメムシ類の発生情報と併せて配布し、地域への更なる普及・定着を図る。

問い合わせ先

千葉県安房農業事務所改良普及課 TEL：0470-22-8132